

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	道路維持事業			会計	款	項	目	大	小
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路管理課					
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備	主管課長	鈴木 和男					

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市が認定・供用開始し、管理する道路	意図	側溝清掃、道路内支障樹木の除去等の適切な維持管理により、道路機能及び交通環境を安全かつ快適な状態に維持する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市道の良好な交通環境を保ち、道路利用者が安全・快適に使用し得るために必要な維持管理作業。 ・側溝・集水桝等、道路排水施設の機能維持に係る清掃、並びに清掃等に伴い発生する汚泥・廃棄物等の処理。 ・視界不良または危険となる支障樹木等の剪定。 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和45年の開始より、各地域における宅地造成の活発化及びTX関連等区画整理事業の進展により、道路延長等が飛躍的に増大しつつある反面、公共下水道整備の進展が追いつかない状況にあり、今後は道路の延伸に伴う側溝等清掃延長の増大により発生する汚泥の適正処理が課題である。 			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		道路内樹木剪定委託	6	3			
	道路排水施設等汚泥処理	302	264	256	m3	↓↓↓	月別発生汚泥処理量の累計数量
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・民地側からの樹木等が公道へ越境し、通行の妨げになっている箇所が多く、その地権者に直接伐採等を依頼している。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		5,188,013	15,568,084	14,834,092			
事業費(b)(円)		2,316,813	12,773,284	12,070,386			
うち一般財源		2,316,813	12,773,284	12,070,386			
職員給与費(c)(円)		2,871,200	2,794,800	2,763,706			
人役・職員(人)		0.40	0.40	0.40			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	・歩行者及び車両の通行に際し安全を確保する。
今年度(H26)に実施した取り組み	・道路内支障樹木等については、業務委託を発注し安全な状態を維持した。

取り組みの課題	・住民の高齢化により側溝清掃や樹木せん定の要望が増加傾向にある。
今後の改善計画	・上下水道局と連携し、公共下水道の接続促進するとともに、側溝の蓋掛けを進める。